

JAPAN

日本国家概况

SURVEY

第四版

刘笑明 主编

南开大学出版社

日本国家概况

(第四版)

主编 刘笑明
编著 刘洋



田泰如

南開大學出版社

图书在版编目(CIP)数据

日本国家概况 / 刘笑明主编. —4 版. —天津:
南开大学出版社, 2018.6
ISBN 978-7-310-05543-2

I. ①日… II. ①刘… III. ①日语—高等学校—教材
②日本—概况—高等学校—教材 IV. ①H36

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2018)第 003279 号

版权所有 侵权必究

南开大学出版社出版发行

出版人:刘运峰

地址:天津市南开区卫津路 94 号 邮政编码:300071

营销部电话:(022)23508339 23500755

营销部传真:(022)23508542 邮购部电话:(022)23502200

*

天津市蓟县宏图印务有限公司印刷

全国各地新华书店经销

*

2018 年 6 月第 4 版 2018 年 6 月第 1 次印刷

210×148 毫米 32 开本 15.625 印张 403 千字

定价:39.00 元

如遇图书印装质量问题,请与本社营销部联系调换,电话:(022)23507125

前 言

随着时代的发展，从事中日政治、经济、文化教育等交流工作的人员和日语学习者越来越多。因此，很需要一本适合我国日语学习者，能够全面了解日本国情和日本国民生活以及风俗习惯的教材。

此书以我国从事日语教育的工作者、大专院校日语专业的学生、报考日语专业硕士研究生以及准备参加全国高等教育自学考试的考生为对象，是从日语教育视点出发，结合我国日语教学的具体情况并参照了日语教学大纲及高等教育日语专业自学考试大纲编写而成的。

本书主要由日本地理、日本社会和日本历史三部分组成。内容包括：地理、历史、社会、政治、文化、经济、科学教育、工农业、生活以及风俗习惯等方面的知识。为了便于学习，编者对于文章中出现的人名、地名及事件等难读汉字词汇都标注了读法，并且每一章节都附有习题和答案以及课题研究，便于掌握要点。本书主要编写分工如下：刘洋——日本地理；刘焱——日本社会；白田泰如——日本历史；全书由刘笑明负责整体内容的修改、增补以及统稿、审订。书中及电子平台中的一些表格和图片均标注了出处，其中一些没有标注出处的图片均为编者刘笑明和刘焱在日本的个人摄影，在此特加说明。

本书自2000年出版以来，受到了多数学习者的认同。为了教学和习得方便，根据南开大学出版社的意见，此次再版重新修订，对习得重点和习题一一做了分析解答，并且制作了电子平台，以方便教师和学生使用。教师可以根据教学任务和时间选择重点章节、重点内容进行授课。

本书在编写过程中参考了日本有关资料，并且得到了从事日语教育工作的日本教师的指导，力求内容丰富、知识新颖、系统规

范，具有实用性。希望此书能够使学习者了解日本并对学习日语有所帮助。

此书在编写和电子平台制作过程中得到了南开大学出版社的技术支持，并在编辑、出版过程中得到了很多指导帮助，在此谨表谢意。

刘笑明

2017年12月

目次

第一篇 日本の地理

第一章 日本の位置と面積.....	3
第一節 位置と国土.....	3
練習問題.....	9
第二章 日本の人口と気候.....	11
第一節 総人口と大都市.....	11
第二節 日本の気候.....	29
第三節 季節風・梅雨・台風.....	32
第四節 自然災害.....	34
練習問題.....	37
第三章 日本列島.....	39
第一節 日本の地形.....	39
第二節 日本の山地.....	41
第三節 日本の川と湖.....	43
第四節 平地.....	46
第五節 海岸のまわり.....	48
第六節 植物と動物.....	50
練習問題.....	51

第四章 日本 _の 資源	53
第一節 地下資源とエネルギー	53
第二節 森林資源	56
第三節 水産資源	56
第四節 公害	58
練習問題	61
第五章 日本 _の 交通	63
第一節 陸上交通	63
第二節 海上と空 _の 交通	68
練習問題	70
第六章 日本 _の 各地方	72
第一節 北海道地方	72
第二節 東北地方	78
第三節 関東地方	82
第四節 中部地方	87
第五節 近畿地方	92
第六節 中国と四国地方	97
第七節 九州と沖縄地方	100
練習問題	104
総合練習問題 (A)	105
総合練習問題 (B)	106

第二篇 日本_の社会

第一章 日本 _の 政治	111
第一節 日本国憲法	111
第二節 国会 _の 地位と仕組	114

第三節 内閣.....	117
第四節 司法権と裁判所.....	119
第五節 日本の選挙と政党.....	122
第六節 地方自治.....	124
練習問題.....	126
第二章 日本の経済	131
第一節 戦後以降の日本経済史.....	131
第二節 日本の産業.....	137
第三節 日本の経済問題.....	142
練習問題.....	147
第三章 日本の教育	151
第一節 教育の近代化.....	151
第二節 戦後の教育.....	152
第三節 日本の教育問題.....	157
練習問題.....	160
第四章 日本の文化	164
第一節 日本の年中行事.....	165
第二節 日本の伝統芸能.....	175
第三節 日本文学の流れ.....	184
第四節 日本の伝統武道.....	188
第五節 日本の宗教.....	191
練習問題.....	193
第五章 日本人	196
第一節 日本人の衣食住.....	196
第二節 日本人のレジャー.....	203
第三節 日本人の通過儀礼.....	204
第四節 日本人の性格.....	209
練習問題.....	211

第三篇 日本の歴史

第一章 古代の日本	217
第一節 縄文時代以前	217
第二節 縄文時代	219
第三節 農耕文化の成立	221
第四節 倭国大乱と邪馬台国	223
第五節 古墳文化と大和政権	225
第六節 大和政権	226
練習問題	228
第二章 飛鳥時代	231
第一節 推古朝と飛鳥文化	231
第二節 律令国家	233
第三節 奈良時代	237
第四節 天平文化	241
第五節 平安時代の始まり	244
練習問題	247
第三章 貴族の時代と国風文化	251
第一節 摂関政治	251
第二節 国風文化	254
第三節 荘園と武士	258
第四節 院政と平氏の台頭	260
練習問題	264
第四章 武士政権の始まり	267
第一節 鎌倉幕府の成立	267
第二節 執権政治	271
第三節 幕府の衰退	274

第四節	鎌倉文化.....	277
	練習問題.....	281
第五章	武家社会の展開.....	284
第一節	鎌倉幕府の崩壊と室町幕府.....	284
第二節	守護領国制と日明貿易.....	288
第三節	庶民の台頭と応仁の乱.....	291
第四節	室町文化.....	296
第五節	戦国大名の台頭.....	301
	練習問題.....	306
第六章	幕藩体制の確立.....	309
第一節	織豊政権.....	309
第二節	幕藩体制の成立.....	318
	練習問題.....	328
第七章	幕藩体制の展開.....	331
第一節	幕政の安定.....	331
第二節	経済の発展.....	335
第三節	元禄文化.....	341
	練習問題.....	345
第八章	幕藩体制の動揺.....	347
第一節	幕政の改革.....	347
第二節	幕府の衰退.....	353
第三節	化政文化.....	359
	練習問題.....	365
第九章	近代国家の成立.....	368
第一節	開国と幕府の動乱.....	368
第二節	明治維新と富国強兵.....	374

第三節 立憲国家の成立と甲午戦争.....	385
第四節 日露戦争と国際関係.....	395
第五節 近代産業の発展.....	400
第六節 近代文化の発達.....	405
練習問題.....	410
第十章 近代の日本	414
第一節 第一次世界大戦と日本.....	414
第二節 ワシントン体制.....	419
第三節 恐慌の時代.....	423
第四節 軍部の台頭.....	428
第五節 第二次世界大戦.....	432
練習問題.....	439
第十一章 戦後の日本	443
第一節 占領と民主化.....	443
第二節 日本の復興.....	448
第三節 国際社会への復帰と経済成長.....	451
第四節 石油危機と低成長時代.....	456
第五節 現代日本の課題.....	463
練習問題.....	467
歴史年表	470
日本の大学	475

第一卷 日本の位置と面積

第一篇 日本と国土

第一篇

日本の地理

第一章 日本の位置と面積

第一節 位置と国土

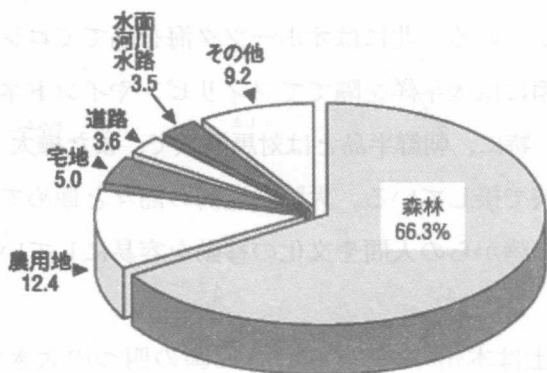
日本はアジア大陸の東側にあり、東経約 123 度から 154 度、北緯約 20 度半から 46 度の間にある。南北 3500 km にわたって、全体として弧状^{こじょう}を形成している。

日本周囲には海で、東側および南側が太平洋、北西側が日本海、西側が東中国海、北東側がオホーツク海と呼ばれている。つまり、日本の東と南西には太平洋があり、アジア大陸と日本の間には、オホーツク海と日本海と東中国海がある。日本は日本海と東中国海を隔てて中国、韓国、朝鮮と向い合い、東は広い太平洋を隔ててアメリカと相對している。北にはオホーツク海を隔ててロシアのシベリアがあり、南には太平洋を隔ててフィリピンやインドネシアなどの国々がある。特に、朝鮮半島とは対馬海峡^{つしま}で、また樺太^{からふと}（サハリン）とは宗谷海峡^{そうや}で接している。大陸や近隣の島々と極めて近い位置にあるため、大陸からの人間や文化の移動を容易にしていると考えられる。

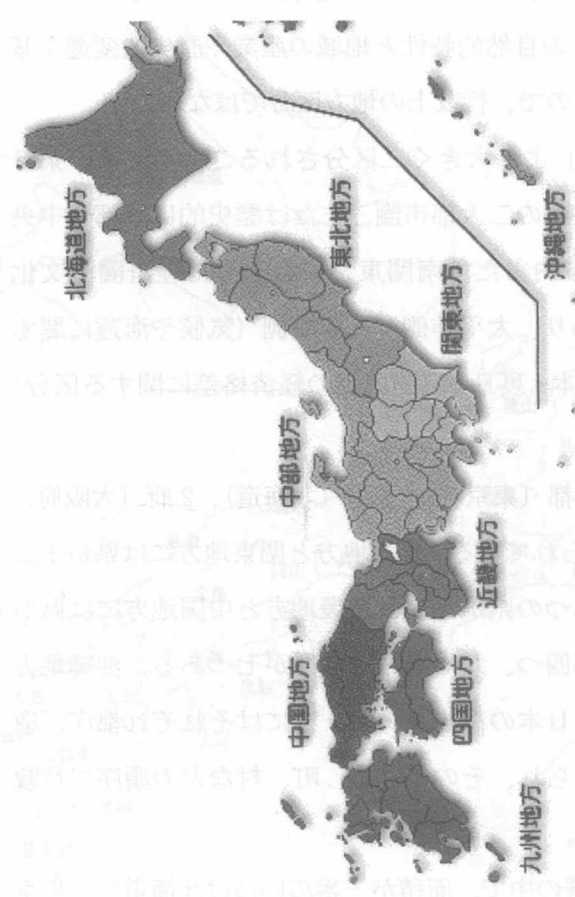
日本の国土は本州・北海道・九州・四国の四つの大きな島ほか、伊豆^{いず}・小笠原諸島^{おがさわら}・沖縄本島、そして北東に位置する北方四島などの島から成っている。これらは日本列島と総称されている。また、

海流から見れば、日本列島の南側を黒潮（日本海流）と呼ばれる暖かい海流が流れており、北からやってくる親潮（千島海流）と三陸沖から常磐沖でぶつかって好漁場を作っている。

国土の面積は約 37.8 万 km^2 であり、世界第 61 位である。土地の約 66% が森林に覆われており、国土面積の約 70% が山岳地帯であるため、河川は流路延長に比べ、川床勾配が急であり、大陸を流れる川と異なり、一気に流れ下る川が多い。また盆地や平野など山地からの出口には扇状地を発達させていることが多く、河口付近には厚い堆積層からなる平野を形成している。人が住める平地の面積は 24% にしか過ぎなく、ここに人口の 65% が集中している。北海道は本州の北にあり、九州は本州の南西にあり、四国は本州の南にある。その中で、本州の面積が一番大きく、全国面積の 61% を占めている。ついで、北海道は 22%、九州（沖縄県を含む）は 12%、四国は 5% をそれぞれ占めている。



日本国土利用の現況（平成 21 年）
国土交通省「土地白書」に引用



九地区区分
(ウィキペディア日本に引用)

日本国内では、歴史的な経緯・交通機関の発達・経済の変化・文化や住民の帰属意識などによって北から北海道、東北、関東、中部、近畿、中国、四国、九州、沖縄の九つの地方に分けられる。これらの地方区分は地形などの自然的特性と地域の産業や歴史の変遷を基礎にして分けられたもので、行政上の地方区分ではない。

また、「九地方区分」より大きく二区分されることもある。東日本・西日本（東京と大阪の二大都市圏、または歴史的に首都や中央政権が置かれてきた畿内または南関東を中心とした経済圏や文化圏に関する区分）とあり、太平洋側・日本海側（気候や海運に関する区分）とあり、表日本・裏日本（国内での経済格差に関する区分）とある。

行政上では日本は1都（東京都）、1道（北海道）、2府（大阪府、京都府）、43県に分けられている。東北地方と関東地方には県が十二あり、中部地方には九つの県があり、近畿地方と中国地方には県が十、四国地方には県が四つ、九州地方には県が七つある。沖縄地方は沖縄県一つである。日本の都、道、府、県にはそれぞれ都庁、道庁、府庁、県庁が設けられ、その下に市、町、村などの順序で行政機構が設けられている。

日本の47の行政区域の中で、面積が一番広いのは北海道で、東京都の37倍もあり、一番狭いのは大阪府で、北海道の45分の1しかない。